

フェーズ 業務区分	基本計画	基本設計	実施設計	工事以降
概算算出	部分別・工種別工事費の構成と共通費の内容理解			工事費を分析し、実績として蓄積
	用途による全体工事単価、構成比の違い把握			
	図面密度に合わせた概算数量算出と概算項目設定			
	メーカー見積と実勢価格の違いを把握し概算に反映			
	部分別の内訳項目・単価を設定し、工事費概算を算定			現場の状況を把握した適切な現場変更の概算算出
	設計プロセスの理解と設計者と適切なコミュニケーション			
	VE/C/Dの提案とコストコントロール			
	図面に記載のない項目についても予測し、概算コストに反映			
	仮設計画・工事工程・構工法理解し、経済的な計画の立案、概算コスト(及び設計内訳書)に反映			
	事業収支立案のサポート			蓄積された実績データの効率的活用
	BIMを実用化するための課題を克服し、BIMデータに関係者で共有			
	建設市場の動向を掴み、工事費の変動予測を行い、第三者に説明			
	ICT活用による多角的なコスト分析・評価			
	設計初期段階からコストマネジメント、プロジェクトマネジメントを実施（ターゲットコスト実現のためにリーダーシップ力を発揮）			
設計内訳書作成	数量積算についての基礎知識			
		条件に合った刊行物単価の値入	歩掛かりを組んで代価表を作成	設計図書や施工計画と整合し、施工者の現場変更内訳数量に誤りがないかチェック
		数量積算基準に準拠した数量拾い	納まりと施工方法を踏まえた数量算出	
	発注者と設計書のまとめ方を協議	実施設計段階における内訳書の作成（補助金含む）	数量積算に関する質問への回答および対応	
		メーカー見積の徴集先を検討・確保	内訳数量を分析して実績データを蓄積	
		複数社から徴収した見積（メーカー・専門工事会社）の見積条件や見積範囲、金額を確認・比較し、適切な査定率を設定	RIBC他を使用した設計内訳書作成	
		外部委託した協力事務所の内訳数量のチェックと追加・訂正の指示		
		概算との比較によるチェック（数量、部分別単価・金額）	躯体歩掛かり・工事費構成から大きな間違いをチェック	
		早期の総額把握と対策要否検討		現場の状況を把握した適切な現場変更設計内訳書を作成
		仮設計画立案、工事工期の設定を行い、内訳書に反映		積算結果を活用した多様な数量単価データを作成
見積評価・価格協議		複数社（施工者）から徴収した見積書を比較・分析	客観性のある蓄積したデータを活用した見積評価	設計変更内容の適切かつ迅速なコスト評価を実施
		短時間で図面内容を把握	設計内容と見積内容を熟知した対応(質問・回答)	設計変更内容を把握し、対等な立場で折衝を実施
		専門工事会社・メーカーの見積内容(見積範囲)の確認と見積金額と実勢値との差を指摘（適切な査定率）		
	折衝相手について情報収集を行う等の事前準備	施工者の見積書・仮設計画・工事工程表を比較・確認	法規法令に照らした評価（設計施工案件）	
		施工者見積書と積算数量突き合わせを実施	施工者見積を適切な工事費に評価	
	新工法・新材料・最新の設計トレンドを把握	専門業者（メーカー）との事前交渉	折衝中に変動する総金額の把握	
		図面・見積書に記載されていない隠れた金額を把握	多少なことには動じず、相手のペースに嵌らず交渉	
	施工現場条件を把握し、適切な構工法仮設計画を提案・協議		施工者から適切な工事費削減策を引き出す（VE/C/Dを含む）	
		プロジェクトとごとに異なる適切な共通費率(共通仮設・現場管理費・一般管理費)を把握	発注者へ評価内容・協議内容の説明	
		実勢単価の調査・把握		
	自社（及び発注者）に有利で相手の立場も良くなるよう交渉			
	建設物価動向、社会情勢を踏まえた見積評価・協議			
発注支援・マネジメント	材料・工法・メーカー製品に関する情報を収集			
		総合評価方式の理解と知識		
	補助金の仕組みを理解し発注者と協議	プロジェクトに適した「設計と施工の調達方式」を提案	概算数量・概算金額・工事工程の妥当性検証及び工事予算との比較によるリスク抽出	
		様々な契約方式・責任区分の理解と提案		見積比較結果を基に推薦会社を提示(報告書作成)
		多様な発注方式の理解と提案（プロジェクト要求に整合した「設計と施工の調達方式」提案）		施工者との請負契約条件を確認し、リスクを検討
		見積依頼先のロングリストを作成し発注者に提案、ショートリストを協議		VE/C/Dを提案、コストコントロールを行い、第三者に説明
		プロジェクト条件に応じた見積要項書・見積書作成要領書を作成・提案		総合評価の項目・配点及び得点計算方式の提案
		プロジェクト関係者との良好な関係を構築し、価値観を共有		
		コストマネジメントに必要なツール作成・活用		
		デザイン会議、プロジェクト会議、現場説明会を主催		
		デザイン、機能、グレードなどの価値（コスト）を関プロジェクト係者に説明し、情報と認識を共有		
		設備工事についての知識を有し、的確なコストコントロールを実施		
	自社の契約上リスクを検討・協議	プロジェクトリスクの検討と対策提案		
	プロジェクト全体スケジュール作成と調整・管理（適切な設計工程、発注工程、施工工程の検討と提案）			

：建築積算士補

：建築積算士

：コスト管理士（レベルⅠ）

：コスト管理士（レベルⅡ）